



PRIMERGY BX900 S1

はじめにお読みください



使用許諾契約書

富士通株式会社（以下「弊社」といいます）では、本サーバにインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記ソフトウェアの使用条件にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。

なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただくものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本サーバでのみ使用できます。なお、お客様は本サーバのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き貴社または開発元である第三者に帰属するものとします。

2. バックアップ
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1 部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。

3. 本ソフトウェアの附ソフトウェアへの組み込み
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。

4. 複製
(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2」および「3」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。ただし、本ソフトウェアに複製禁止の表示がなされている場合には、複製できません。

(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示、変更、削除、掲載等しいでください。

5. 第三者への譲渡
お客様は本ソフトウェア（本サーバ）に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用（バックアップ）媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたサーバとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本サーバでご添付されている媒体を本サーバとは別に第三者へ譲渡することはできません。

6. 改造等
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

7. 保証の範囲
(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本サーバ（をご購入いただいた日から90 日以内）に限り、お申し出いただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本サーバ（をご購入いただいた日から1 月以内）に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。

(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能が生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害）を含みますが、これに限定されないものとします。一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知られていた場合も同様とします。

(3) 本ソフトウェアに第三者が発見したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が発見したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

8. ハイエッセイ
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイティ用途に要する安全性を確保する措置を講ずることなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を生ずる用途をいいます。

記
原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

作業を始める前に

最新情報について

マニュアルの最新情報は以下のURLをご覧ください。また、留意事項などが記載されている場合、あわせてご確認ください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/manual.html>

設計構築に必要な情報について

サーバの導入・システム構築などの設計構築に必要な情報については、「PRIMERGY」ページの「技術情報」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/tec.html>)をご覧ください。

用語について

マニュアルで使用されている用語「システムユニット」は、「シャーシ」を意味します。

梱包物を確認する

「梱包物一覧」をご覧ください。梱包物がすべてそろっているか確認してください。カスタマイドサービスを利用してご購入された場合は、添付の「保証書」（「構成品一覧」が添付されている場合は「構成品一覧」）をご確認ください。

「安全上の注意およびその他の重要情報」を確認する

添付の「安全上の注意およびその他の重要情報」には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に取り扱ってください。また、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

サポート&サービス

PRIMERGYに関する最新の情報や、製品・サービスに関するお問い合わせ、修理などにつきましては、添付の「サポート&サービス」をご覧ください。

システムユニットのラックへの搭載

システムユニットをラックに搭載する手順については、添付の「ラック搭載ガイド」をご覧ください。

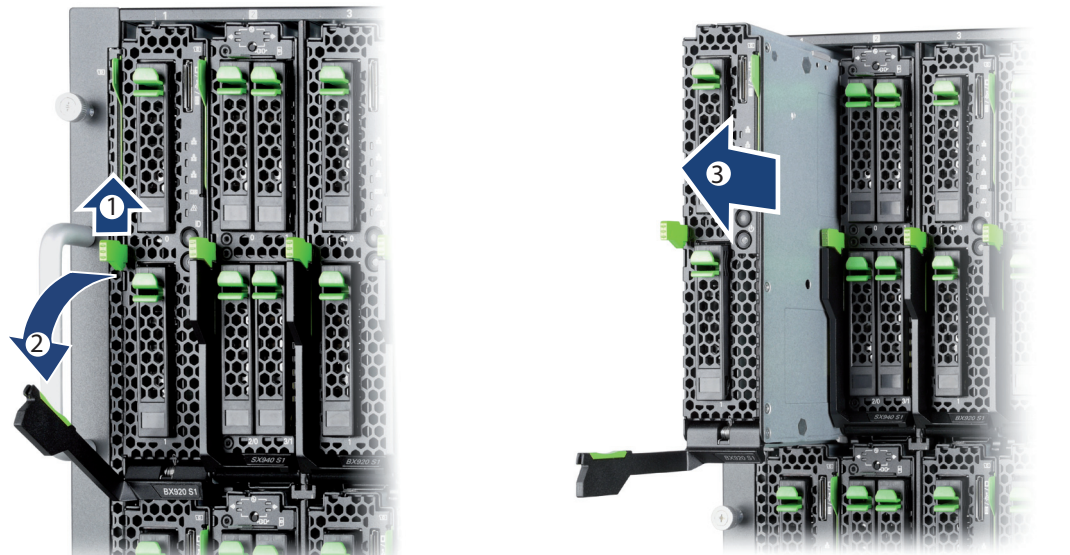
コンポーネントの取り外し(1)

注意

システムユニットをラックに取り付ける前に、サーバブレード、ストレージブレード、マネジメントブレード、電源ユニット、ファンユニット、ダミーモジュールをすべて取り外して、システムユニットを軽くしてください。システムユニットが正しく取り付けられていないと、重大なエラーが発生するおそれがあります。

サーバブレード/ストレージブレードの取り外し

システムユニットの各サーバブレードの搭載場所をメモしておきます。



(写真は、BX920 S2サーバブレードの例です。)

- リリースラッチを押し上げて、ロックを外します。
- リリースレバーを水平まで開きます。
- サーバ(ブレード)を取り外します。

ストレージブレードを取り外す方法は、上記と同じ手順です。

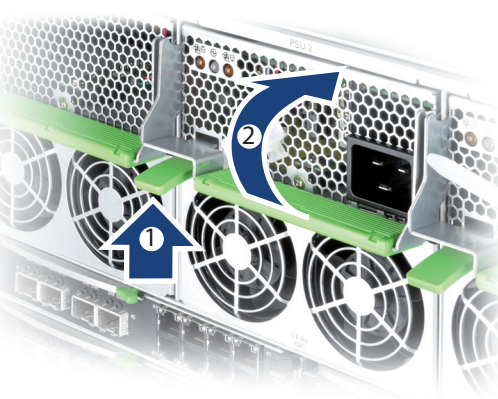
ダミーサーバブレード/ダミーストレージブレードの取り外し



- リリースレバーを上げます(1)。
- ハンドルを使用して、スロットからダミーモジュールを取り外します。

電源ユニット/ファンユニットの取り外し

下側のベイ（PSU4～6）には、電源ユニットまたはファンユニットが上下逆の向きに取り付けられています。



- システムユニットの各電源ユニットの搭載場所をメモしておきます。
- リリースラッチを上げながら(1)、ハンドルを起こします(2)。
- 電源ユニットを引き出します。

ファンユニットを取り外す方法は、上記と同じ手順です。

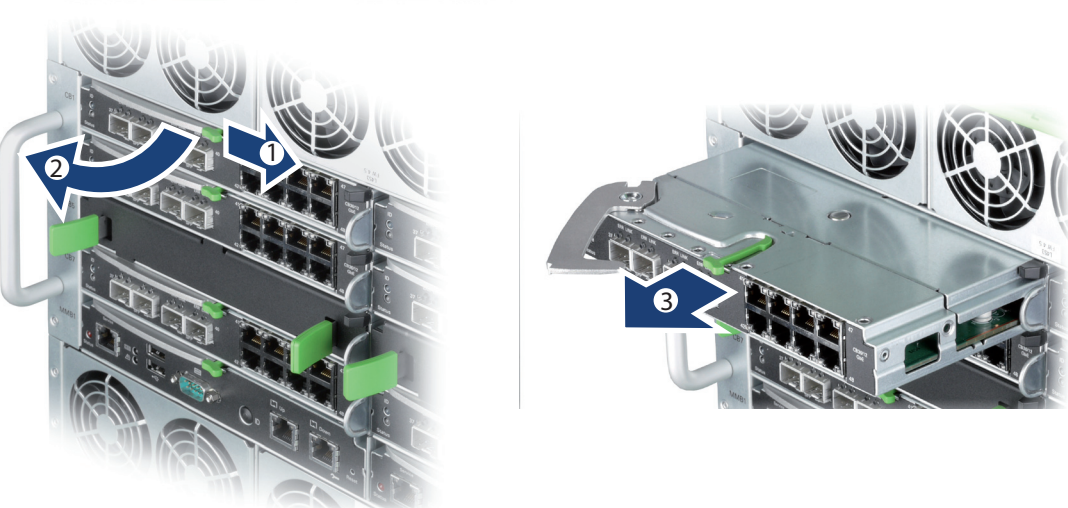
コンポーネントの取り外し(2)

注意

システムユニットをラックに取り付ける前に、サーバブレード、ストレージブレード、マネジメントブレード、電源ユニット、ファンユニット、ダミーモジュールをすべて取り外して、システムユニットを軽くしてください。

コネクションブレード/マネジメントブレードの取り外し

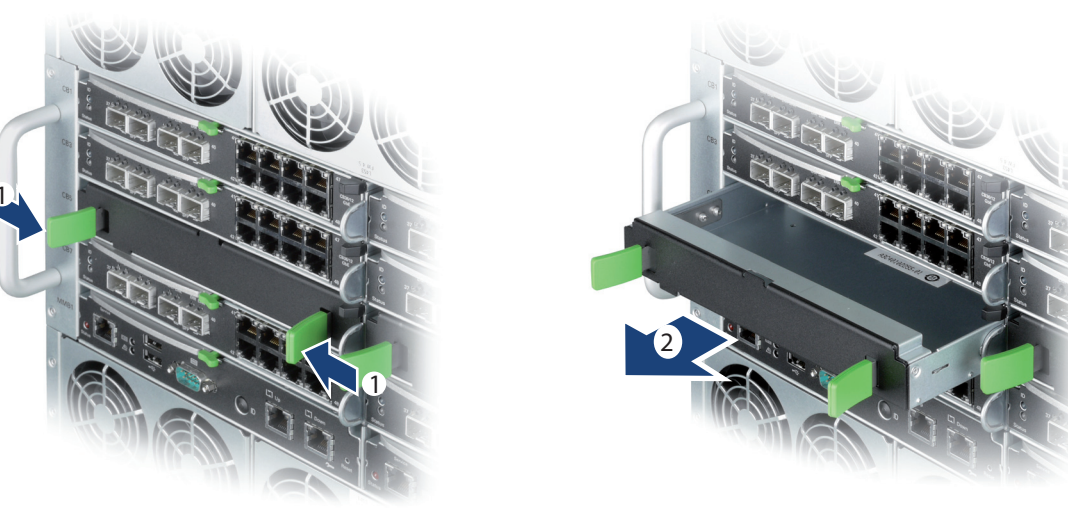
システムユニットの各サーバブレードの搭載場所をメモしておきます。



- リリースラッチを右にスライドさせて、リリースレバーを開放します。
- リリースレバーをいっぱいまで開きます。
- コネクションブレードを取り外します。

マネジメントブレードを取り外す方法は、上記と同じ手順です。

ダミーコネクションブレード/ダミーマネジメントブレードの取り外し



- ダミーモジュールのつまみを内側に押します。
- ダミーモジュールを取り外します。

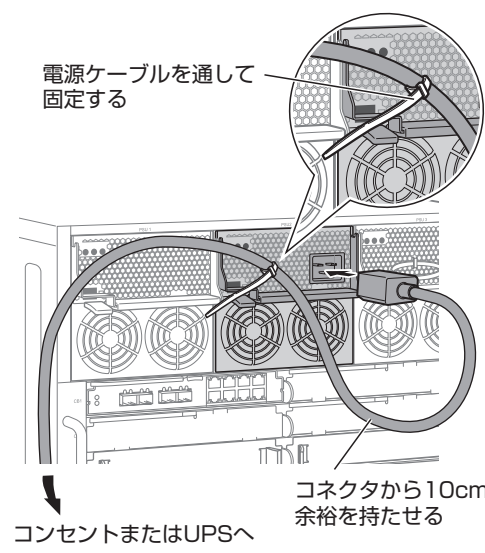
電源ケーブルの接続

システムユニットには、ホットスワップ対応の電源ユニットベイが6つ装備されています。電源ユニットは、標準で3台取り付けられています。

電源ユニットの電圧は、100V～240Vの範囲で自動的に設定されます。いずれかの位相でエラーが発生した場合でもシステムユニットを継続して利用可能な状態にしておくために、電源ユニットは異なる位相に接続するようにしてください。

メイン電源の接続

- 電源ケーブルを、システムユニット背面の電源コネクタに接続します。
- 電源ケーブルをコンセントに接続します。
次のオプションを利用できます。
 - 電源ケーブル（AC200V対応、NEMA L6-30）
 - 電源ケーブル（AC200V対応、IEC 60320-C20）
 - 電源ケーブル（AC100V対応、NEMA 5-15）



タイラップの使い方

タイラップで電源ケーブルを固定することで、ケーブル類が誤って引っ張られることを防ぎます。

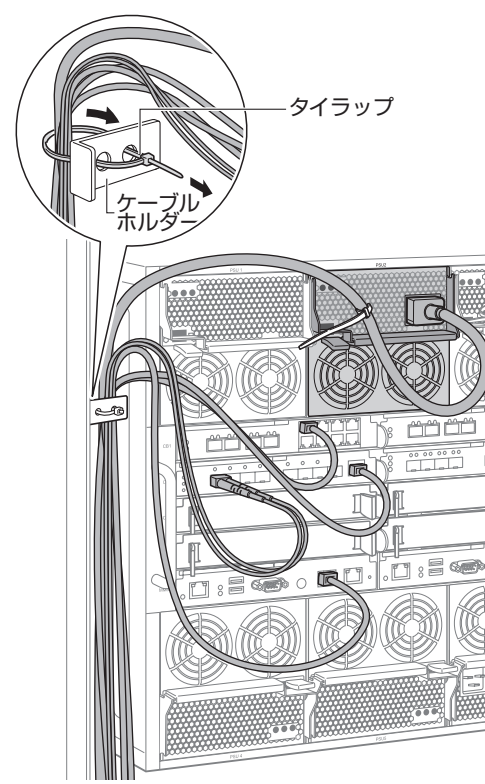
- 電源ケーブルをタイラップに通します。
- タイラップをしっかり引いて電源ケーブルを固定します。

タイラップのストッパー位置で反対側に引っ張ると、タイラップを外すことができます。

ケーブルのフォーミング

ケーブル類を束ねて1箇所固定しておくことで、ケーブル類が抜け落ちることを防ぎます。また、煩雑になりやすいシステムユニットの背面をすっきり整理できます。

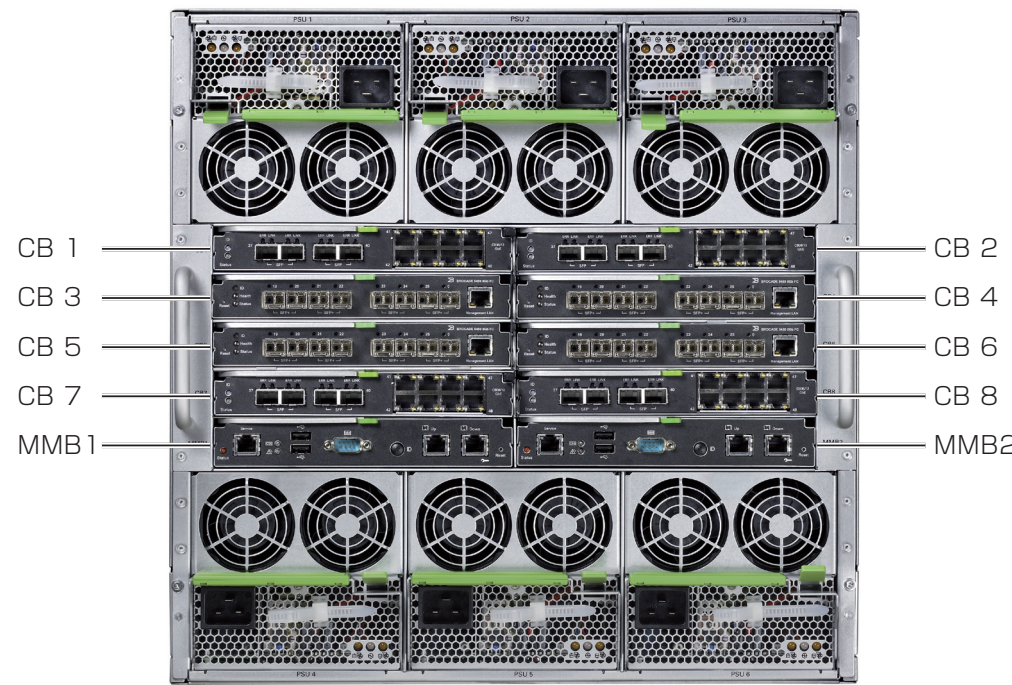
- タイラップ(システムユニットに添付)を使用して、各種ケーブル類をまとめます。ケーブルをコネクタから余裕を持たせてください。
- タイラップをケーブルホルダー(ラックに添付)に固定します。



外部装置用のコネクタ

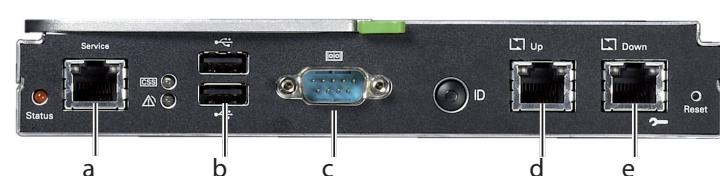
外部装置用のコネクタは、サーバ本体の背面にあります。オプション品やインストールされている拡張カードによっては、他のコネクタもついています。標準コネクタは記号で示され、色で分類されているものもあります。

接続する装置によっては、別途、専用のソフトウェア（例：ドライバなど）が必要になります。詳しくは、各装置の取扱説明書をご覧ください。



CB 1～8	コネクションブレードスロット(CB 1～CB 8) コネクションブレードの詳細については、「オペレーティングマニュアル」をご覧ください。
MMB 1、MMB 2	マネジメントブレードスロット(MMB 1、MMB 2)

マネジメントブレードスロット



- a Service LAN ポート
- b USBポート
- c シリアルポート
- d Management LANポート(UP)
- e Management LANポート(Down)

各部名称とランプ

本システムユニットの前面には、LCDパネルが格納されています。

次の場合に使用します。

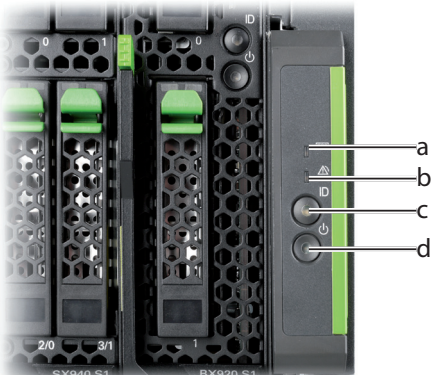
- 基本設定ウィザードを使用したマネジメントブレードの初期設定。
詳細については、「オペレーティングマニュアル」をご覧ください。
- ブレードサーバのローカルでの診断および管理。

最も重要なコントロールと表示の部分は LCDパネルの前面にあります。そのため、LCDパネルが格納された状態で利用できます。

サーバブレードとストレージブレードの各部名称などの説明については、関連する「オペレーティングマニュアル」をご覧ください。

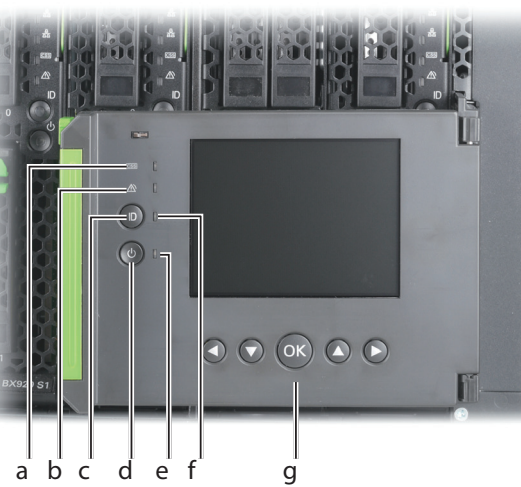
● 前面

LCDパネル(格納された状態)



- a CSSランプ
- b 保守ランプ
- c システム識別灯ボタン/システム識別灯
- d メイン電源スイッチ/メイン電源ランプ

LCDパネル(展開した状態)



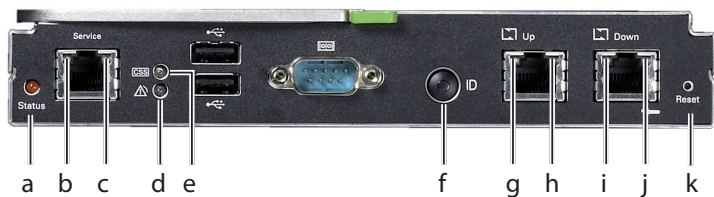
- a CSSランプ
- b 保守ランプ
- c システム識別灯ボタン
- d メイン電源スイッチ
- e メイン電源ランプ
- f システム識別灯
- g メニュー操作ボタン

▲ 注意

LCDパネルをシステムユニットに格納する前に、LCDパネルの右側にあるボタンを押してください。

● 背面

マネジメントブレード



- a Stausランプ
- b LANアクセス表示ランプ(Service LAN)
- c LAN転送速度表示ランプ(Service LAN)
- d 保守ランプ
- e CSSランプ
- f システム識別灯ボタン/システム識別灯
- g LANアクセス表示ランプ(Management LAN)
- h LAN転送速度表示ランプ(Management LAN)
- i LANアクセス表示ランプ(Management LAN)
- j LAN転送速度表示ランプ(Management LAN)
- k Resetスイッチ

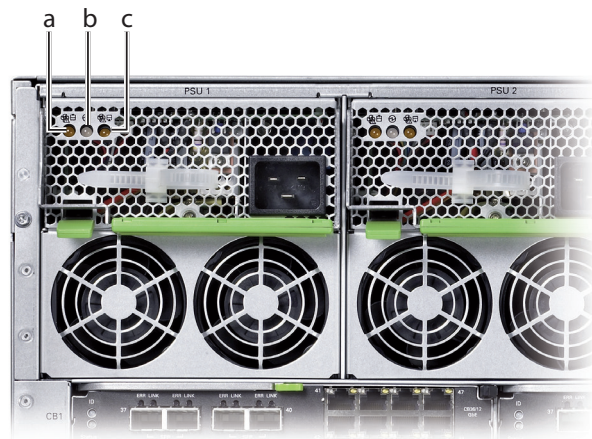
ランプの状態

前面	背面	ランプ名称	色	状態	意味
a	e	CSSランプ	黄	消灯	異常はありません。
			点灯	点滅	CSS部品の故障の予兆を検出しました。 CSS部品の故障を検出しました。
b	d	保守ランプ	オレンジ	消灯	異常はありません。
			点灯	点滅	故障の予兆を検出しました。 故障を検出しました。
d、e		電源ランプ	緑	点灯	サーバブレードの電源が入っています。
			オレンジ	点灯	サーバブレードは待機モード中です(主電源電圧は存在します)。
f	f	システム識別灯	青	消灯	システム識別中ではありません。
			点灯	点滅	システム識別中です。 システム識別中です。
	a	Statusランプ	黄	点灯	マスターモードで動作しています。
			消灯	点滅	スレーブモードで動作しています。
	b		点灯	点滅	リンクを確立中です。
	g	LANアクセス表示ランプ	緑	点灯	リンクが確立されています。
	i		点滅	点滅	転送中です。
	c		黄	点灯	1 Gbpsでコネクションを確立中です。
	h	LAN転送速度表示ランプ	緑	点灯	1 00Mbpsでコネクションを確立中です。
	j		—	消灯	1 0Mbpsでコネクションを確立中です。

詳しい内容、およびエラーの対処方法については、「ServerView Suite DVD 2」に収録されている「オペレーティングマニュアル」をご覧ください。

その他のランプ(背面)

● 電源ユニットのランプ



No.	ランプ名称	色	状態	意味
a	ファン状態ランプ1	オレンジ	点灯	内蔵ファンユニット(ミッドプレーン側)に異常があります。
			点滅	スタンバイモードで待機中です。
b	電源状態ランプ	緑	点灯	正常に動作しています。
		黄	点灯	電源ユニットに異常があります。
c	ファン状態ランプ2	オレンジ	点灯	内蔵ファンユニット(システムユニット背面側)に異常があります。

● ファンユニットのランプ



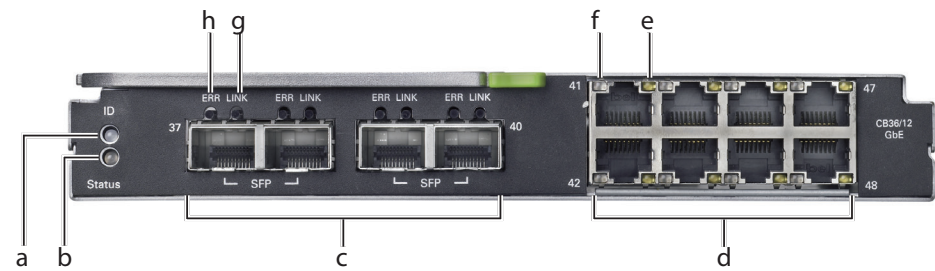
No.	ランプ名称	色	状態	意味
a	ファン状態ランプ1	オレンジ	点灯	内蔵ファンユニット(ミッドプレーン側)に異常があります。
			点滅	スタンバイモードで待機中です。
b	電源状態ランプ	緑	点灯	正常に動作しています。
		黄	点灯	電源ユニットに異常があります。
c	ファン状態ランプ2	オレンジ	点灯	内蔵ファンユニット(システムユニット背面側)に異常があります。

コネクションブレードの各部名称とランプ(1)

本書に記載のないコネクションブレードについては、「オペレーティングマニュアル」または各コネクションブレードのマニュアルをご覧ください。

● スイッチブレード(1Gbps 36/12)

本システムユニットのCB1/2、CB3/4、CB7/8に搭載可能です。
CB3/4、CB7/8に搭載する場合は、拡張ボードスロットにLAN拡張ボード(1Gbps)を搭載してください。



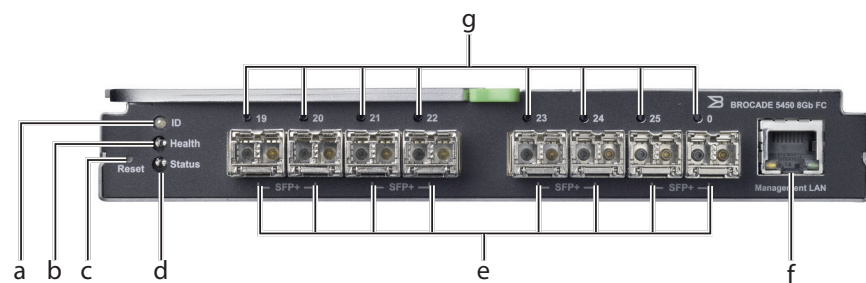
- a 識別ランプ
- b 状態表示ランプ
- c SFPモジュールスロット
- d LANコネクタ(1 0/1 00/1 000BASE-T)
- e LANアクセス表示ランプ
- f LAN転送速度表示ランプ
- g リンクランプ(SFPモジュール)
- h エラーランプ(SFPモジュール)

No.	ランプ名称	色	状態	意味
a	識別ランプ	青	点灯	マネジメントブレードからスイッチブレード識別指示がされている状態です。
			消灯	正常な状態です。
b	状態表示ランプ	緑	点灯	スイッチブレードに給電されている状態です。
		オレンジ	点灯	スイッチブレードが異常である状態です。
		—	消灯	スイッチブレードに給電されていない状態です。
e	LANアクセス表示ランプ	緑	点滅	データの通信中です。
			消灯	リンクなし、またはポート無効化の状態です。
f	LAN転送速度表示ランプ	オレンジ	点灯	1 Gbpsでコネクション確立中です。
		緑	点灯	1 00Mbpsでコネクション確立中です。
		—	消灯	1 0Mbpsでコネクション確立中です。
g	リンクランプ(SFPモジュール)	点灯	点滅	リンクの確立中です。
			消灯	データの通信中です。
			消灯	リンクが確立していない状態です。
h	エラーランプ(SFPモジュール)	オレンジ	点灯	SFPモジュールが異常な状態です。
			点滅	サポートしていないSFPモジュールが搭載されている状態です。
		—	消灯	正常な状態です。

コネクションブレードの各部名称とランプ(2)

● ファイバーチャネルスイッチブレード(8Gbps 18/8)

本システムユニットのCB3/4、CB5/6に搭載可能です。
搭載するスイッチブレードは、ファイバチャネル拡張ボードが取り付けられているサーバブレードのみに適応します。



- a 識別ランプ
- b マネジメントブレード表示ランプ
- c リセットスイッチ
- d 状態表示ランプ
- e 外部ファイバーチャネルポート
- f LANコネクタ
- g 外部ファイバーチャネルポート状態表示ランプ

No.	ランプ名称	色	状態	意味
a	識別ランプ	青	点灯	マネジメントブレードからの識別指示を受けています。
b	マネジメントブレード表示ランプ	緑	点灯	マネジメントブレードから正常に認識され、動作しています。
		オレンジ	点滅	マネジメントブレードからステータス異常として認識されています。
		—	消灯	スイッチブレードの電源がOFFの状態です。
d	状態表示ランプ	緑	点灯	正常に動作しています。
		オレンジ	点灯	スイッチブレードが起動中またはオフライン状態です。
		オレンジ/緑	点滅	警告: エラーが発生しました。 LED はテスト時に点滅することもあります。
g	外部ファイバーチャネルポート状態表示ランプ	緑	消灯	シグナルが検出されません。
			不定期間隔	ポートはオンライン状態でデータ転送中です。
		点滅	—	- 遅い: ポートはオンライン状態のため、セグメンテーションが発生しています。 - 速い: 内部ループバック状態です。
		点灯	—	シグナルまたは光キアラアを受信しています。ただし、オフライン状態です。
		点滅	—	- 遅い(2秒間隔): ポートは無効状態です。 - 速い(0.5秒間隔): ポートは異常状態です。

設定

- システムユニットに必要なコンポーネントが搭載されていることを確認します。
- システムユニットの電源ケーブルを接続します。
システムユニットの電源は、電源ケーブルを接続後 1 分以上経過してから入れてください。
- システムユニットのメイン電源を入れてから、LCDパネルのメイン電源スイッチを入れます。
マネジメントブレードの基本設定ウィザードメニューが表示されます。
- 「YES」を選択して「OK」をクリックし、ウィザードを開始します。
「NO」を選択すると、基本設定ウィザードが終了し、「Health Status Overview」メニューが表示されます。

ウィザードに従って進むと、必要な設定ができます。

設定の詳細については、「オペレーティングマニュアル」をご覧ください。

OSを新規にインストールする

サーバブレードに、WindowsまたはLinuxを新規にインストールする場合は、ServerView Installation Manager(SVIM)を使用します。
詳しくは、「ServerView Suite ServerView Installation Manager」をご覧ください。
なお、Linuxの場合は、SVIMを使用する前にインストールDVDを作成するなど、準備が必要です。

VMwareを新規にインストールする場合は、SVIMは使用しません。詳しくは、VMwareの「ソフトウェア説明書」をご覧ください。

ServerView Suiteの最新情報は、「PRIMERGY」ページの「ServerView Suite情報」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/products/note>)にて提供しております。必ずご覧ください。

□ Windowsの新規インストール

SVIMでインストールを行います。

□ Linuxの新規インストール

- インストール DVD を作成します。
インストール DVD は、RHN (Red Hat Network) からダウンロードして作成します。
RHNへの登録については、「Red Hat Network, サブスクリプションの登録方法」(<http://www.redhat.co.jp/FAQ/regist.html>)をご覧ください。
- RHNにログインします。
- ISO イメージの公開ホームページを開きます。
インストールするディストリビューションを選択してください。
Binary Disc の ISO イメージをダウンロードします。
RHNの画面に、MD5 チェックサムが表示されています。
ダウンロードした ISO イメージのチェックサムが正しいか確認してください。
- ISO イメージから、インストール DVD を作成します。

□ VMwareの新規インストール

インストールメディアは、グレイムウェア株式会社のサイト(<http://www.vmware.com/jp/>)よりダウンロードしてください。

ダウンロードを行うためには、ライセンス取得が必要となります。詳しくは、「お客様登録とライセンス取得のご案内」*をご覧ください。また、製品をご使用になる前にSupportDeskへの登録をお願いします。

* VMware(バンドルタイプをご購入のお客様は、同梱されています。それ以外のお客様は、ソフトウェア製品をご購入いただく必要があります。

VMwareのインストール方法、および使用時に留意すべき事項については、VMwareの「ソフトウェア説明書」(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/vmware/>)をご覧ください。